

中部ニュース

シネスコ版

道新 11月3日 足並み乱れる雪カスト一ヶ流 - 134P (本編ヒアへ追加)

中日新 11月3日 雪にゆく帰路 - 福山 - 113P (本編ヒアへ追加)

高知新 11月23日 本編同じ No. 403 36.10. 6

新潟県 11月6日

リ

カメラ・スケッチ

一、農村は狙われている

福島

今年の秋は全国で三千億円にも及ぶ供米代金が農家に支払われることになつています。ところが、お百姓さん達の豊かなフトコロを目指して、最近、とみに対立しつづける銀行と証券会社がここでも目ざましい勧誘合戦を展開しました。この為に、手ひどいあおりを喰うはめになつたのが農協です。窓口にアンカンと坐つておられず、テレビ業者の侵入にそなえては農協テレビを売り出し、又、銀行・証券に対抗して、一兆円農協貯蓄獲得のZ旗を上げ、胸に農協貯蓄促進のタスキをあやなして、勧誘にまわります。

おかげで、お百姓さん達はひつきりなしの財布攻め。一年間、汗水流して手にした供米代金は、果してどのように落ち着くことやら、豊年満作の農村秋の陣は益々熾烈な様相を呈してゆくことでしょう。

急増する列車利用に、少しでもテンポを合せようと、十月一日国鉄では、新ダイヤに切り替え、今までより、特急が三倍、急行列車が二倍の大増発を行うことになりました。だが、そのおかげで、普通列車は減少した上に、待時間が長くなり、益々遅くなるばかり。駅弁の売り子さん達は、それこそ倍増の忙しさです。又、その上、列車の増発は東海道沿線に「あかずの踏み切り」を数多く出現させ、神奈川県戸塚の踏み切りなどはニッヂもサッともいかない混雑ぶりです。どうやら、新ダイヤの改正は意外なところに波紋をもたらしたようです。

一、国鉄新ダイヤの波紋

愛知・静岡・神奈川・東京

元運輸大臣橋代議士の逮捕から政財界に大きな波紋を投じた「武鉄事件」について、折から開会した臨時国会で、その政治責任の問題をめぐり、成田知己（社）代議士が代表質問で追求。十月一日「法の日」に事件のキメ手を握った検察当局は首脳部協議の結果、国會議員の国政審議権を考慮して、橋代議士を釈放することに決定しました。十一日ぶりに深夜東京拘置所を出所した橋代議士は詰めかけた報導陣にかこまれながら、「政治献金は受けとつたが、身にやましい金銭は受領しない。私はむしろ、武鉄免許に反対した」と言明しました。だが、十月三日、衆議院運輸委員会で、久保三郎（社）代議士が、橋代議士の免許工作運動について政府当局を追求した際、青柳運輸審議会会长は、「時折橋代議士大臣から免許認可のさいそくをうけた」と矛盾する答弁をおこない、更に、事件への疑惑を深めました。

一、武鉄汚職事件追求へ

臨時国会